



NFTやゲームの独自のトークンを運用して稼ぐ5つの方法

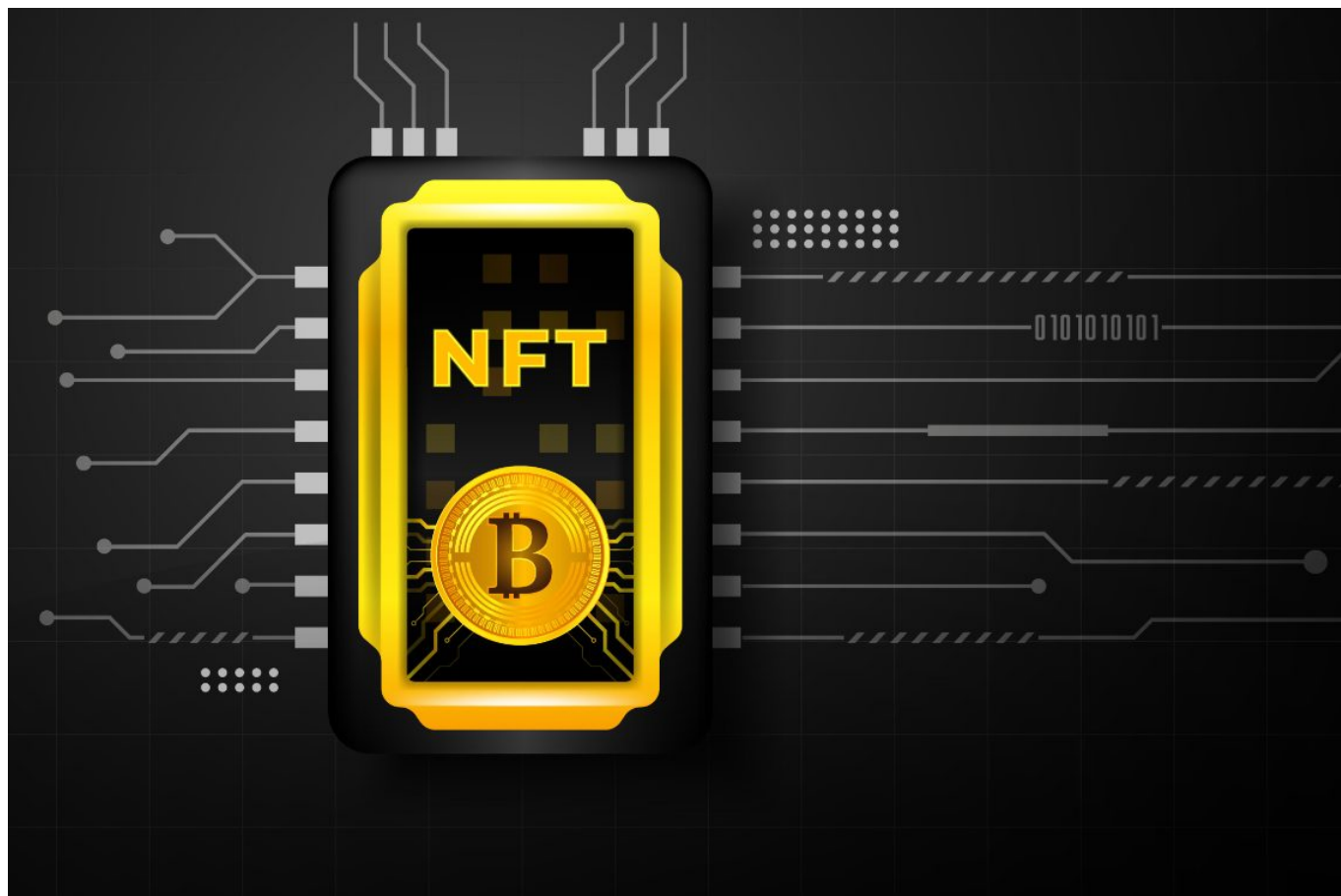
原文:

<https://www.btcc.com/ja-JP/academy/crypto-basics/5-ways-to-earn-money-by-operating-your-own-tokens-for-nfts-and-games>

皆さん、**NFT（非代替性トークン）**やゲームの独自のトークンを運用してお金を稼げることは知っていますか？今の時代では、**ブロックチェーン**ゲームで遊びながらお金を稼ぐことが可能です。その稼ぎ方の中には、「Invest to earn」という方法があり、つまりゲームのアイテムである**NFT**やゲームの独自のトークンを運用して稼ぐことです。今回は、**NFT**やゲームの独自のトークンを運用して稼ぐ5つの方法を紹介したいと思います。ぜひ最後まで読んでください。

■ NFTやゲームの独自のトークンを運用して稼ぐ方法

- NFTやゲームの独自のトークンを運用して稼ぐ方法①: エアドロップでお金を稼ぐ
- NFTやゲームの独自のトークンを運用して稼ぐ方法②: スカラーを雇ってお金を稼ぐ
- NFTやゲームの独自のトークンを運用して稼ぐ方法③: NFTレンタルでお金を稼ぐ
- NFTやゲームの独自のトークンを運用して稼ぐ方法④: 保有する**NFT**を用いて新たな**NFT**を作るでお金を稼ぐ
- NFTやゲームの独自のトークンを運用して稼ぐ方法⑤: ステータスでお金を稼ぐ



NFTで稼ぐ方法①: エアドロップでお金を稼ぐ

ブロックチェーンゲームの中にはガバナンストークン（ゲーム独自のトークン）を運営がプレイヤーに無料で提供（エアドロップ）するゲームもあります。具体的に3つの例を紹介します。

1.AxiInfinity

ブロックチェーンゲーム「AxiInfinity」は運営がガバナンストークンAXSのエアドロップを行いました。運営は2020年10月26日時点のデータ（スナップショット）をもとに配布しました。配布量には次の要素が考慮されました。所有する[NFT](#)と土地、マーケットプレイスでの活動、勝利したバトルです。

2.GodsUnchained

ブロックチェーンカードゲーム「GodsUnchained」はゲームのガバナンストークンである\$GODSと、イーサリアムのL2プロジェクトであるImmutable Xのガバナンストークンである\$IMXを配布しました。

配布方法はRetrospective AirdropとAlpha Airdropの2種類です。Retrospective Airdropでは、運営は2021年7月22日のスナップショット前にNFTを保有していたり取引していたプレイヤーに均等に配りました。Alpha Airdropでは、運営がNFTのレアリティなどに応じてポイントをつけ、そのポイントに応じてトークンを配分しました。

3.Splinterlands

ブロックチェーンゲーム「Splinterlands」ではゲームの[NFT](#)保有量に応じて、1年間毎日ガバナンストークンであるSPSを運営がエアドロップ（無料で配布）しています。執筆現在はまだエアドロップ期間中です。

NFTで稼ぐ方法②：スカラーを雇ってお金を稼ぐ

ブロックチェーンゲームの中には、スカラー制度と呼ばれる仕組みがあります。自分の持っているゲームのアカウントを他者に預け、その他者に自分のアカウントを使ってゲームをプレイしてもらいます。そこで得た報酬を、自分と相手に分配する仕組みです。具体的に2つ紹介します。

1.ThetanArena

[ブロックチェーン](#)ゲーム「ThetanArena」にもスカラーができる仕組みがあります。「AxiInfinity」と同じくゲームプレイの認証とウォレットの認証が切り離されているため、スカラー側が暗号資産を移動したりNFTを移動したりすることはできません。

2.AxiInfinity

ブロックチェーンゲーム「AxiInfinity」はゲームを始めるために3体のNFTが必要になります。そのためそれらの[NFT](#)を準備できないプレイヤーは、持っているプレイヤーにアカウントを借りることでゲームをプレイし報酬を得ます。ウォレットの認証は持ち手しかできないため、[NFT](#)や[暗号資産（仮想通貨）](#)を盗まれることはありません。

NFTで稼ぐ方法③：NFTレンタルでお金を稼ぐ

多くのブロックチェーンゲームは、ゲームのアイテムであるNFTを他のプレイヤーにレンタルする仕組みがあります。[NFT](#)をレンタルをしている期間はそのNFTをゲームで使えなくなりますが、レンタル収益を得ることができます。具体的に3つの例を説明します。

1.「Splinterlands」のレンタル

ブロックチェーンカードゲーム「Splinterlands」では、24時間以内にバトルで使用していないすべての[NFT](#)をレンタルすることができます。

2.「ThetanArena」のレンタル

ブロックチェーンゲーム「ThetanArena」では、それぞれの[NFT](#)によってバトルごとにゲーム内通貨で

あるTHCを稼ぐことができる上限値が決まっています。THCを稼ぐことができる回数が残っているNFTのみレンタルすることができます。

3. 「クリプトスペルズ」のレジェンドレンタル

ブロックチェーンカードゲーム「クリプトスペルズ」では、レアリティが最高級のレジェンドに限りNFTをレンタルすることができます。レンタル収益はゲーム内ポイントとして得ることができます。

NFTで稼ぐ方法④：保有するNFTを用いて新たなNFTを作るでお金を稼ぐ

ブロックチェーンゲームの中には、保有するNFTを用いることで、新しいNFTを作る仕組み（合成：mint）があります。

1. 「コントラクトサーヴァント」のMIX

国内ブロックチェーンゲームの「コントラクトサーヴァント」には、NFT同士を掛け合わせて新しいNFTを生み出す機能があります。掛け合わせることのできる回数はNFTにつき1回に制限されています。

2. 「STEPN」

[ソラナ\(SOL\)](#)チェーン基盤のブロックチェーンゲーム「STEPN」では、保有している2つのNFTから新しいNFTを作ることができます。

プレイヤーは1つのスニーカーにつき、最大7回まで掛け合わせることができます。新しいNFTを作るために必要となる通貨は、NFTのレアリティによって変化します。具体的には、レアリティがCommonとUncommonの場合は、ゲーム内通貨である「GST」が必要です。CommonとUncommonより上のレアリティの場合には、GSTに加えてガバナンストークンである「GMT」が必要になります。

GMTはバイナンスでIEO(Initial Exchange Offering)したことで反響を呼びました。

3. 「AxiInfinity」

ブロックチェーンゲーム「AxiInfinity」では、NFT同士を掛け合わせて新しいNFTを作ることができます。掛け合わせる回数には上限があります。新しいNFTを作るためには、ガバナンストークンであるAXSと、ゲーム内通貨であるSLPが必要です。

NFTで稼ぐ方法⑤：ステーキングでお金を稼ぐ

ブロックチェーンゲームの中には、暗号資産を保有することで報酬を受けられるステーキングという仕組みをゲーム内に実装しているゲームもあります。暗号資産のステーキングとNFTのステーキングの2種類が存在します。具体的に3つの例を紹介します。

1. 「Splinterlands」

ブロックチェーンゲーム「Splinterlands」では、ガバナンストークンであるSPSを運営に預けることでステーキング報酬を得ることができます。預けられたSPSトークンは運営によってロックされ、すべてを解除するために4週間が必要になり、1週間に25%ずつ解除される仕組みになっています。

2. 「ThetanArena」

「ThetanArena」ではガバナンストークンであるTHGをステーキングできます。他と異なる仕組みとして100THGのステーキングにつきNFTが1つ必要となります。選択肢はFlexibleか、半年ロック、1年ロックの3つがあります。ステーキングのリターンとして、THGだけでなく他BCGのプライベートセール参加権を得られます。

3. 「AxiInfinity」

ブロックチェーンゲーム「AxiInfinity」では、ガバナンストークンであるAXSを運営に預けることでステーキング報酬を得ることができます。AXSはBinance上でもステーキングできます。

【他の記事】

[DApps（分散型アプリ）プラットフォームを6つ紹介！](#)

[DAppsとは？分散型アプリの定義と活用事例を解説 | 用語集](#)

[ビットコインのショート\(空売り\)とは？取引所もご紹介！ | 用語集](#)

[エイプコイン（APE）とは？概要や特徴を解説 | 用語集](#)

[DAO\(分散型自律組織\) | 利点と欠点、米国での法的論点を解説](#)